

2023年度 GK日本語学校 自己点検・自己評価報告書

評価基準

- ・A:「十分に達成されている」あるいは「十分に適合している」
- ・B:「およそ達成されている」あるいは「およそ適合している」
- ・C:「一部未達成」ではあるが、1年を目処に「達成」あるいは「適合」が確実
- ・D:「未達成」あるいは「適合していない」

1. 教育理念・目標

1.1	<p><理念> 日本語教育を通じ【聞く・話す・読む・書く】はもとより、【日本の文化・日本人の勤勉さ・心情】に触れ、地域の交流の中で多文化共生を図ることで、広い視野を身につけ、世界で活躍できる人財を育てる。</p> <p><教育目標> ①正しい日本語能力を身につけ、2年コースは大学・短大、1年6か月コースは専門学校等への進学に必要な日本語能力の習得を目指す。 ②日本語で自分の考えを相手に正確に伝え、また相手の話す事を正しく理解し行動する判断力を培う。 ③学校生活を通じ、日本の文化・勤勉さ・心情等に触れ、広い視野で何事も積極的に取り組む姿勢を育む。 ④国籍の異なる留学生が互いの文化的な違いを理解し合い、対等な関係を築こうとしながら、共に人間性を高める。</p> <p><育成する人財像> 【日本の文化・日本人の勤勉さ・心情】に触れ、地域の交流の中で多文化共生を図ることで、広い視野を身につけた、世界で活躍できる人財。</p>	<p>確認</p> <p style="text-align: center;">○</p>
-----	--	--

点検・評価項目		評価
1.2	教育理念、目的、目標、育成する人財像が社会のニーズに合致している。	A
1.3	理念、教育目標及び育成する人財像が、教職員及び学生に周知されている。	A
1.4	理念に基づく教育が効率的に実施されている。	B

2. 学校運営

2.1	日本語教育機関の告示基準に適合している。	確認	○
-----	----------------------	----	---

点検・評価項目		評価
2.2	短期及び中長期の運営方針と経営目標が明確化され、教職員に周知されている。	A
2.3	管理運営の諸規定が整備され、規定に基づいた運営が行われている。	A
2.4	意思決定が組織的に行われ、かつ効率的に機能している。	A
2.5	予算編成が適切に行われ、執行ルールが明確である。	A
2.6	外部からの情報収集が効率的に行われ、かつ、共有する仕組みがある。	A
2.7	業務の見直し、及び、効率的な運営の検討が定期的、かつ組織的に行われている。	A
2.8	授業や運営に関する学生からの相談、苦情等の担当者が特定され、適切に対処している。	A
2.9	IT等により業務の効率化が図られている。	A
2.10	校長、主任教員、専任教員及び非常勤教員の職務内容及び責任と権限を明確に定めている。	A

2.11	教員及び職員の採用方法及び雇用条件を明文化している。	A
2.12	教員及び教員の研修等により教育の質及び支援力強化のための取り組みをしている。	B
2.13	教育機関としての信頼を高めるため、ハラスメント防止等に関する研修を行っている。	A
2.14	教員及び職員の評価を適切に行っている。	A
<p>総括: 講師会及びカリキュラム説明の際に、学校の状況や目標を伝えている。本社社内規約に則り、組織的な運営、予算内での執行、採用及び雇用を心がけている。外部の研修への参加や学内でも長期休暇を利用して教員研修を行っている。今後はより理念や教育目標に合わせた研修で教育内容の充実を図っていききたい。教職員の評価は、本社の人事考課及び学生による授業アンケートを実施し、今後の学校運営に活かすようにしている。</p>		

3. 教育活動の計画

点検・評価項目		評価
3.1	理念・教育目標に合致したコース設定及びカリキュラムが設定されている。	A
3.2	国内、又は国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考にしてレベル設定をしている。	A
3.3	成績評価や進級、卒業の判定基準は明文化されていて、周知されている。	A
3.4	教育目標に合致した教材を選定している。	A
3.5	補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにするとともに、著作権法に留意している。	A
3.6	教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られている。	B
3.7	教員の能力、経験などを勘案し、適切な教員配置をしている。	B
3.8	教員の指導力向上の取り組みを行っている。	B
<p>総括: 四技能の向上だけではなく、国籍の異なる学生との意見交換や校外での日本人との交流を取り入れ、広い視野を身につけられるようなカリキュラムを作成している。Can-doやCEFRを参考にしていく。成績評価や進級、卒業判定は、書面及びオリエンテーション等で学生に周知している。教育内容や方法については、非常勤教員への周知を徹底したい。教員研修を充実させ、自分の考えを正確に伝え、聞く力を向上させられるよう、教員自身の更なる指導力向上を図りたい。</p>		

4. 教育活動の実施

点検・評価項目		評価
4.1	授業開始までに学生の日本語能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っている。	A
4.2	教員に対して担当クラスの学生の学習目標、編成試験の結果、学習歴その他指導に必要な情報を伝達している。	A
4.3	授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録している。	A
4.4	理解度・到達度の確認を実施期間中に適切に行っている。	A
<p>総括: 入学時にレベルチェックテストを実施し、クラスを決定している。クラスファイルを作成し、授業記憶や出席簿を授業ごとに担当教員が記入している。出欠に関しては学生管理システムも利用している。小テストや定期試験等で理解度や到達度を確認し、適宜面談も実施している。</p>		

5. 成績判定と授業評価

点検・評価項目		評価
5.1	判定基準及び判定方法が明確に定められ、適切に行われている。また判定基準と方法を開示している。	A
5.2	判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証している。	A
5.3	成績判定結果を的確に学生に伝えている。	A
5.4	評価体制、評価方法及び評価基準が適切である。	B
5.5	学校より教員に対しての授業評価を定期的実施している。	A
5.6	学生による授業評価を定期的実施している。	A
5.7	授業評価の結果が教育内容や方法の改善、教員の教育能力向上等の取組みに反映されている。	B
<p>総括: 学期前にオリエンテーションを実施し、学生に成績判定について説明。成績判定結果は学生管理システムで即座に学生が見られるようにしている。授業評価については、授業見学を実施し、その後フィードバックを行っている。学期末に学生による授業評価も行っている。評価体制や授業評価の精度をより高めていきたい。</p>		

6. 教育成果

点検・評価項目		評価
6.1	入学後の学習成績を記録、保管し、適正に管理している。	A
6.2	修了・卒業の判定を適切に行っている。	A
6.3	日本留学試験、日本語能力試験等の外部試験の結果を把握している。	A
6.4	卒業または退学後の進路を把握している。	A
6.5	卒業生や退学生の方々の状況を把握するための取組みを行い、進学先、就職先等での状況や社会的評価を把握している。	A
<p>総括: 学習成績や外部試験の結果は学生の個人ファイル及び学生管理システムにおいて管理している。卒業生の進路についても把握し、同窓会を発足した。</p>		

7. 学生支援

点検・評価項目		評価
7.1	学生支援計画を策定し、支援体制を整備している。	A
7.2	生活指導責任者が特定され、その職務内容及び責任と権限を明確に定めている。また、これらの者を学生及び教職員に周知している。	A
7.3	留学生に関するオリエンテーションを入学直後に実施し、また、在籍者全員を対象に定期的実施している。	A
7.4	住居支援を行っている。	A
7.5	アルバイトに関する指導を適切に行っている。	A
7.6	健康、衛生面、精神面について指導及び相談を受ける体制を整えている。	A
7.7	対象となる学生全員が国民健康保険に加入し、併せて留学生保険に加入している。	A
7.8	重篤な疾病や傷害のあった場合の対応、及び感染症発生時の措置を定めている。	A
7.9	交通事故等の相談体制を整備している。	A
7.10	危機管理体制を整備している。	A
7.11	火災、地震、台風などの災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所等を定め、避難訓練を定期的実施している。	B

7.12	災害等の緊急時における措置を定め、教職員及び学生に周知している。	B
<p>総括: 入学時に生活指導担当者によるオリエンテーションを実施している。住居支援が必要な場合は住居を紹介し、定期的に訪問している。アルバイト先はほとんどの学生がグループ内のレストランでしている。緊急連絡先を学生に周知し、体制を整備。避難訓練等は本社との連携が必要で、今後定期的に開催したい。</p>		

8. 進路に関する支援

点検・評価項目		評価
8.1	進路指導担当者を特定している。	A
8.2	学生の希望する進路を把握している。	A
8.3	進学、就職等の進路に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にある。	A
8.4	入学時からの一貫した進路指導を行っている。	A
<p>総括: 進路指導は主に担任が担い、学生の進路についてはオリエンテーションや面談を実施して指導を行っている。資料については、閲覧場所を設けている。</p>		

9. 入国・在留に関する指導及び支援

点検・評価項目		評価
9.1	入管事務担当者を特定し、その職務内容及び責任と権限を明確に定めている。	A
9.2	担当者は、研修受講等により最新かつ適切な情報取得を継続的に行っている。	A
9.3	出入国在留管理局により認められた申請等取次者を配置している。	A
9.4	入管法上の留意点について学生への伝達、指導等を定期的に行っている。	A
9.5	在留に関する学生の最新情報を正確に把握している。	A
9.6	在留上、問題のある学生への個別指導を行っている。	A
9.7	不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組みを継続的に行っている。	A
<p>総括: 入管事務担当者を決めており、取次申請者が在留資格の更新を行っている。担当者は、生活指導担当者研修に参加。学生にはオリエンテーションや面談を実施して指導している。また、新入生には住之江警察からも生活・自転車安全教室の際に指導してもらっている。</p>		

10. 教育環境

点検・評価項目		評価
10.1	教室内は、十分な照度があり、換気がなされ、語学教育を行うのに必要な遮音性が確保されている。	A
10.2	授業時間外に自習できる部屋を確保している。	A
10.3	教育内容及び学生数に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能である。	A
10.4	視聴覚教材やITを利用した授業が可能な設備や教育用機器を整備している。	A
10.5	教員及び職員の執務に必要なスペースを確保している。	A
10.6	同時に授業を受ける学生数に応じた数のトイレを設置している。	A

10.7	法令上必要な設備等を備えている。	A
10.8	廊下、階段等は、緊急時に危険のない形状である。	A
<p>総括: 個人机を整備し、授業では電子黒板を使用している。本社とともに防災点検を受けている。</p>		

11. 入学者の募集と選考

点検・評価項目		評価
11.1	理念・教育目標に沿った学生の受入方針を定め、年間募集計画を策定している。	B
11.2	学校関係者(職員等)が入学志願者に対して情報提供や入学相談を行っている。	A
11.3	教育内容、教育成果を含む最新、かつ、正確な学校情報、求める学生像、及び応募資格と条件が入学希望者の理解できる言語で開示されている。	B
11.4	海外の募集代理人(エージェント等)に最新、かつ、正確な情報提供を行うとともに、その募集活動が適切に行われていることを把握している。	A
11.5	入学選考基準及び方法が明確化され、適切な体制で入学選考を行っている。	A
11.6	学生情報を正確に把握し、提出された根拠資料等により確認を行っている。不法残留者を多く発生させている国からの志願者については、学校関係者(職員等)が面接などの調査を行うよう努めている。	A
11.7	入学志願者の学習能力、勉学意欲、日本語能力等を確認するとともに、受け入れるコースの教育内容が志願者の学習ニーズと合致することを確認している。	A
11.8	入学検定料、入学金、授業料、その他納付金の金額及び納付時期、及び学費以外に入学後必要になる費用が明示されている。	A
11.9	関係諸法令に基づいた学費返還規定が定められ、公開されている。	A
<p>総括: ホームページにて募集要項や学校の様子を公開している。エージェントには当校について説明を行い、コース等に理解した上で募集を行っている。また、学生には面接時に確認している。主に英語で対応しているが、募集国が増えてきたため、各国の言語でも整備していきたい。</p>		

12. 財務

点検・評価項目		評価
12.1	財務状況は、中長期的に安定している。	A
12.2	予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれている。	A
12.3	適正な会計監査が実施されている。	A
<p>総括: 本社の規約に則って行っている。年度初めに予算を作成し、予実報告を毎月行っている。</p>		

13. 法令遵守

点検・評価項目		評価
13.1	法令遵守に関する担当者を特定している。	A
13.2	教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組みを行っている。	A
13.3	個人情報保護のための対策をとっている。	A
13.4	出入国在留管理局、その他関係官公庁への届出、報告を遅滞なく行っている。	A
13.5	自己点検・評価の実施と問題点の把握、改善に努めている。	A
13.6	自己点検・評価をホームページ等で公開している。	A